Kumamoto City

News Release

令和８年（２０２６年）１０月１９日

Data StaRt Award

～第 11 回地方公共団体における統計データ利活用表彰～

「総務大臣賞」を受賞しました

本市の「データで変える滞納整理 ― RCT による催告方法の見直しと予算削減 ―」の取組が、総務省主催の「Data StaRt Award ～第 11 回地方公共団体における統計データ利活用表彰～」において、最高賞に相当する「総務大臣賞」を受賞しました。

1　受賞の概要

受賞した賞　総務大臣賞

受賞団体　　熊本市

受賞取組　　データで変える滞納整理　― RCT による催告方法の見直しと予算削減 ―

2　Data StaRt Award について

総務省が、統計データに基づく的確かつ効率的な行政運営を促進するため、平成 28 年度から実施している表彰制度です。政策立案や行政サービスの改善等に統計データを活用した地方公共団体の優れた取組を表彰します。

総務大臣賞、統計局長賞及び特別賞が設けられており、総務大臣賞は本表彰の最高賞に相当します。

3　受賞した取組の概要

市税の納付を呼びかける方法について、SMS（携帯電話へのショートメッセージ）と既存の催告手段の効果を比較検証し、その結果を催告方法と訪問委託業務の見直しに反映した取組です。職員負担の軽減と年間 2,500 万円の予算削減につなげました。

詳しくは、別添の取組概要資料をご覧ください。

※RCT（ランダム化比較試験）：対象者を無作為にグループに分け、方法の違いによる効果を比較する検証方法。

（次ページへ続く）

【お問い合わせ先】

政策局　総合政策部　データ戦略課

電話：０９６－３２８－２３８２

課長：吉坂　光輝（よしさか　みつてる）

財政局　税務部　納税課

電話：０９６－３２８－２２０４

課長：外海　賢史（となみ　けんし）

熊本県 熊本市　データで変える滞納整理 ― RCTによる催告方法の見直しと予算削減 ―

✓SMS（ショートメッセージサービス）を新たな催告手段として導入するに当たり、固定資産税の初期滞納者及び分納不履行者を対象に、SMSと既存の催告手段の効果をランダム化比較試験（RCT）で比較検証。
✓初期滞納者には追加催告を行わない対照群も設け、手段ごとの違いに加え、追加催告そのものの効果も確認。検証結果を催告方法と訪問委託業務の見直しに反映し、職員負担の軽減につなげるとともに大幅な予算削減（2,500万円/年）を実現。

課題・きっかけ

- 従来の電話・訪問・郵送等の各催告手段について、より効果的・効率的な滞納整理を進めるため、催告方法や委託内容を見直す必要があるが、そのための根拠が不足。
- SMSは迅速で低コストな催告手段として期待されたが、既存の催告手段と比べた納付率・接触率への影響が未検証であり、データに基づく効果を検証することが必要。

得られた効果と展望

- 検証の結果から、訪問委託業務を見直し、大幅な予算削減（2,500万円/年）を実現。
- 納付失念者等の自主納付の促進、財産調査等の後続事務の抑制に寄与。
- 今後も継続的に納付率・接触率・費用対効果を確認するとともに、他税目・他期別滞納への横展開を検討予定。

実施内容

■分析①：固定資産税１期未納者への催告効果検証
　未納者を電話番号等の登録状況別に分けた上で、各層内でSMS・電話・訪問の実施可能な手段と、追加催告を行わない対照群に無作為に割り付けた。催告後の納付率・接触率を比較し、手段同士の差に加え、追加催告を行わない対照群との差から効果を検証した結果、SMSによる催告が最も納付率が高い電話催告と同程度であることが判明し、低コストなSMSが電話催告を補完・一部代替できることが示唆された。

■分析②：分納不履行者への催告方法検証
　分納不履行者をSMS、白封筒（通常封筒）、虎柄封筒（注意喚起封筒）に無作為に割り付け、催告後の納付率・接触率を比較した。SMSが郵送より納付・接触につながるか、虎柄封筒が効果的かを検証し、SMS・虎柄封筒のいずれも白封筒よりも効果的であると示唆された。

